患者	新患者	死亡
四〇九一	二五八五	九八
三八六		四三
一七二		五
二		〇
一二		〇
一		〇
四六八三	二七三一	

七分一厘ニ當リ之ヲ前週間中ニ比シ減ノ

八人

九人八分六厘ヲ減ノ

宮城縣 自九月一日 至仝 七日 拾八人
秋田縣 自八月廿七日 至九月 七日 三百八拾六人
大坂府 自九月一日 至仝 七日 二百二拾人
長野縣 自九月二日 至仝 八日 百九拾五人
山形縣 自八月廿四日 至仝 三十日 百五拾一人
千葉縣 自八月卅一日 至九月 七日 百二拾四人
靜岡縣 自八月廿八日 至九月 三日 百〇二人
三重縣 自九月一日 至仝 七日 九拾人
岩手縣 自九月一日 至仝 七日 七拾二人
兵庫縣 自八月十三日 至仝 十九日 六拾六人
函館縣 自九月一日 至仝 七日 五拾八人
和歌山縣 自八月十三日 至仝 十九日 四拾六人

内務省衛生局

佐從六位勳五等 柴山 矢八
同 井上 良智
同 世良田 亮
同 瓜生 外吉
同 辻 修三郎
同 村本 傳次
同 坂本 俊篤
同 野口定次郎
士正七位勳六等 谷木義雄
同 藤原 清
士補 石丸 重輔

同 同 勳六等 中村 基俊
海軍少主計正八位 宮島 胤廣
海軍主計補 古澤 光雄
同 勳六等 多田伊助 中井三千藏 田淵悅太郎 村田長太郎
任海軍中主計 中田五郎助 森川 只助 今井 禮助 增田善兵衛
任海軍少主計 岩田鎮次郎 岡本 利吉 亀田 泰治 飯田長九郎
佐藤喜代治 工藤 竹藏 後藤長次郎 佐藤作次郎
陸軍兵卒服役中鹿兒島逆徒征討ニ際シ盡力其功不少候ニ付勳八等ニ敘シ白色桐葉章下賜候事

時事新報

支那政府ノ擧動

今回日韓兩國ノ交際困難ナルノ時ニ當リ支那政府ノ擧動ニ關シ我輩ノ了解シ得ザルモノ甚ダ多シ八月初旬ニ我政府ガ花房公使ヲシテ再ビ渡韓セシムルニ際シ支那政府ハ電報ヲ以テ東京駐在ノ使臣ニ訓令ヲ傳ヘ朝鮮騷亂ノ由ニ付水陸ノ師ヲ調發シテ援護セシム日本公使館我屬邦ニ在リ一併ニ護持ス可シ出兵ノ主意ハ特朝護日ニ在リト知ラレコト我政府ニ通知セシノ我ヨリ返答ニ餘計ノ世話ニ及ハズト云ハレテ必ズシモ日本ノ使館ヲ護セズト雖ドモ屬邦ノ内亂ハ鎮定セザル可ラズ必ズ安心セラレヨトノ意ヲ反覆照會セシメタリト云フハ甚タ不審ナルコトナリ朝鮮ノ内治外交トモ其自主ニ任シ支那政府ハ關係ナシト自カラ明言シタリト云フニ今回日本朝鮮間ノ外交ニハ何等ノ理アリ權アリテ支那政府ハ大ニ干渉スル所アラント企テタルカ又彼ノ馬建忠ガ渡韓ノ如キ多數ノ軍艦兵員ヲ引率シテ卒然南陽ニ來リ漢城ニ入ルニ及テハ部下ノ支那兵ヲ以テ城ノ四大門ヲ守リ恰モ戰勝者ガ敵ノ降城ニ占據シタルノ觀アリ又國王ノ生父大院君ヲ執ヘテ北京ニ護送スルニ至リ馬氏等ガ公布ノ諭文中ニハ近年朝鮮ノ内政治ラズ遂ニ今回ノ變アリ此事中國皇帝ノ上聞ニ達シ大院君之ヲ預知ルト云ノヲ以テ皇帝嚴怒シテ王師ヲ差向ケラレ先ツ大院君ヲ北京ニ召サレテ親問セラルヽトリ畢人定マリタル上ニ更ニ天誅ノ威ヲ申ブ可シナリト云フ文字アリ其意朝鮮ハ藩國ノ領地ナリト云フニ相近シ奇怪至極ナリト云フ可シ又八月廿八日ニ朝鮮政府ハ支那兵ノ手ヲ藉リテ畢人ヲ捕縛シタリト云ヘリ是ハ朝鮮政府ヨリ馬建忠ニ依頼シテ一時ノ助力ヲ得タルモノナルカ又ハ馬建忠自ガラ部下ノ兵ヲ指揮シテ朝鮮畢人天誅ノ手續ニ及ビタルモノカ未タ確實ノ事情ヲ知ルヿ能ハズト雖ドモ最前京城ニ入リタル片自家ノ兵士ヲ配置シテ他人ノ城門ヲ守衛シタルノ例ニ依レハ畢人ノ捕縛モ朝鮮政府ノ依頼ヲ待チシモノニ非サル可シト自然我輩ノ心中ニ疑ナキヲ得ズ又馬建忠ハ本月三日即チ日韓新約締決ノ後第四日目ニ至リテ書翰ヲ花房公使ニ贈リ新約中朝鮮暴徒ノ巨魁等ヲ捕縛シ幷ニ償金ヲ拂ハシムルノ條々ヲ輕減セン事ヲ請求シタリ是將タ何等ノ意アヤ兩國ノ全權大臣ガ君命ヲ奉シテ議定調印シタル條約ニ傍ヒ一ツ條ヲ容レ成約ノ後ニ之ヲ變更セント云フハ議論上ヨリ論スルモ穩當ノ所爲ト思ハレズ率ニ花房公使ガ之ニ服合ハザリシヲ以テ無事ニ歸スルヲ得タリト雖ドモ高國ノ交際ヲモ辨知シタル馬氏ニシテ斯ル不都合ヲ爲セシハ何分ニモ解ス可ラザルヿナリ又馬建忠ハ漢城ニ入リタル後凡二週日ニシテ本月四日再ビ天津ヘ歸航シタルガ後ニ不審ナルハ韓廷ノ重臣趙寧夏、金宏集ノ兩人ガ今回馬氏ト同行シテ天津ニ赴キタルノ一事ナリ趙金兩氏トモ花房公使ガ再ビ仁川ヘ到着以來常ニ往來周旋シ八月卅日條約締結ノ時モ金氏ハ副全權大臣トシテ專ラ今回ノ談判ニ預リ趙氏ハ現職兵曹判書(陸軍卿)ニ在テ共ニ重要ノ地位ニ立ツ人々ナリ然ルニ今此兩氏ガ馬建忠ニ同伴シテ支那ニ行キタリト云フハ時節柄甚タ訝シキ事勳ナリト云ハサルヲ得ズ馬建忠ガ漢城ヲ去ルノ際國王政府ト何カ相談シタル事ハナキヤ或ハ其相談ニ關シテ趙金兩重臣ガ支那行ヲ要スルニテハナキヤト我輩ノ心中疑念一タビ生シテ百感蝟集シ未タ之ヲ掃フノ方便ヲ得サルナリ我輩ハ是等ノ疑ヲ江湖ニ質スルノ機會ヲ失ハサル可シ

○

豐公論 第一

凡ツ人物ノ價位ヲ定メンニハ其人局部ノ所業ニ就テ遽ニ判斷ヲ下ス可ラズ均シク是一人ニシテ其身究シ財盡テ手脚ノ事ヲナスヨリ見レハ小人ナラント雖ドモ又時ヲ得テ腕力ヲ用ヰ横行ヲ恣クシハ奸雄ノ觀アル如ク局處ノ行事ハ其人ノ全体ヲトスルニ足ザルヲ知ルベシ豐公ノ如キ卑賤ヨリ起テ天下ニ覇タリ誠ニ豪傑タルニ疑ナシト雖ドモ天下後世ノ人孰レモ局所ノ論評ヲ下シ能タ其心事ヲ洞察シタルモノアラズ三百年ノ間空シク英雄ノ魂ヲシテ百世知己ナキニ泣カシメタルノミ

予輩ヲ以テ豐公ヲ見ルニ豐公畢生ノ志願ハ諸豪衆雄ヲ威伏シテ其上ニ立タント云フニアラズ惟專ラ日本全國ヲ合一協同シ各相睽離スルヿナカラシメンヲ務メ其土地兵馬ノ如キハ天下何人ノ手ニ歸スルト雖ドモ敢テ之ヲ意トセサル者ノ如シ豐公嘗テ信長ノ命ニ由リ征西ノ大將タリシ片信長之ニ約スルニ功成ラハ中國ヲ舉テ汝ニ予ヘンヿヲ以テス豐公辭シテ曰臣ハ直進勢ニ乘シ九州ヲ下シ其一旗ノ入ヲ賜ハリ糧仗舟艦ヲ備テ朝鮮ニ入リ其兵ヲ用テ明國ヲ席捲シ以テ三國ヲ合一ニセント其志願ノ決シテ日本ノ土壤兵馬ヲ掌握スルニ在サルヲ敢スベシ其内國ニアッテハ務テ諸將ヲ撫絏シ土地ヲ割與スル恰モ塵芥ヲ棄ルカ如ク然リ又群雄ノ四隅ニ割據シテ會同セザル者ト雖ドモ勝算ヲ圖テ之ヲ容ルヽヲ計リ若シ强暴ニシテ聽ナルモノアレハ已ムヿヲ得ス兵ヲ動シテ之ヲ討滅スレハ又其家ヲ絶ツ者ガ封土ヲ願ヒ要スルニ豐公ノ志願ヲ有モ全國ヲ統合

ル爲メナレバ土地兵馬ヲ奉ヲ他人ニ與フルト雖ども亦其心ニ甘ンスルカ如ク雄壓壯圖古今ニ獨歩スト謂フベシ

豊公ノ政略ニ長ヲ容レ同ヲ求メ天下合同ノ一義ニ在リ之時ニ當リ豊公ニ取テ最大ノ困難タリシハ天下各處ニ主義ノ異同多キニ基ナリ毛利ハ毛利ノ主義アリ北條ハ北條ノ主義アリ天下各處ノ群雄孰レモ皆一主義アラザルナク而シテ其主義ハ互ニ相反シテ同一ニ歸ナシ然ルニ豊公ノ主義ハ惟全國調和ノ一義ナレバ江海ノ大度豊ヲ闊ヒテ各處ノ衆豪雄ヲ容レ自ラ北條ヲ滅セトモ八州ヲ擧テ德川ニ歸シ進テ奥羽ヲ下セバ百万石ノ衆土ハ氏鄕ニ予ヘ上杉ノ悍雄モ歸順スレバ之ヲ問ハス鳴海ノ猛驚モ降來スレバ封ヲ割テ故ニ復テシノ苟モ全國調和ノ爲ニナンハ何物ト雖ども喪フ能ハス故ニ民直ノ如キモ早ク八州ヲ棄テ安館ヲ通シ政宗モ奥羽ヲ挙ヒテ使節ヲ送ルハ豊公ハ大ニ喜ヒ之ヲ勸ル、ニ相違ナキナリ何トナレバ彼等ノ來ルハ全國調和ノ爲ニ大義アレバナリ豊公ノ主義ハ實ニ此一ニ盡ナリト雖ども當時ノ群雄誰アツテ豊公ノ心腹ヲ洞察シ往テ合同ヲ求ムルヿ能ハス豊公ノ忌諱シ近ヲ接スレバ己カ土地兵權ヲ失ハサル可キヲ疑シテ遠ザカルヲ安然ノ策アリト誤想ノ而シテ遂ニ其疎遠ニスルハ大ニ豊公ノ意ニ悖リ適マ禍怨ヲ招クヲ悟ラザルナリ

德川家康ノ如キ當時參駿ニ割拠シ關東ノ領路ヲ抱ス故ニ豊公ハ八州ヲ賜ルニ若ク百万家康ヲ招クノ者ヲ以テ之ニ委セテ其歡心ヲ結ヒ又毋君大政ヲ調和ニ基ヲ已ノ他意ナキヲ示ノ然ルニ家康ハ獨リ豊公ノ意中ヲ悟ラザルノミナラズ或ハ之ニ抗爭セ今ヨリ豊公當時ノ意中ヲ想見セハ家康ハ無智ナリ大勢ヲ解セサル者ナリト獨リ心勞ヲクルヿナラン夫レ斯ノ如ク豊公ハ苟モ全國合同ノ一義ニ合フヿナレバ知テ爲マルナカリシカ群雄ノ智慮淺薄ナルヨリ其意ヲ悟ル能ハサリシナリ故ニ豊公カ其志願ノ充分ニ[illegible]ルハ決テ已ノ罪ニアラズ當時群雄ノ不[illegible]ルヲ歎セリ豊公ノ不平今日ヨリ想見スルモ其太タシカラン

（未完）

雜報

[illegible]くも畏上兩皇后宮ヨリ客年來痛[illegible]されしが此程精算ありたる帝室費十四年の[illegible]ハ其前年度に比すれバ殆んど七八分の一を減少せりと實に難有も又勿体なき事ヨまそ

○陸軍　皇大殿宮ヨリ去月上旬靖山御[illegible]ニ於て[illegible]

○[illegible]て皇族大臣參議[illegible]

に陛覽を仰付らるゝやに承る

○電報　昨十八日英國駐劄公使森有禮君より左の電報其筋へ到着したり

埃及兵營戰をアラビは生擒ふれ戰亂局を結べり

○伯林電報　又同日獨國駐劄公使青木周藏君より伊藤博文病氣聞合せに關し參議い病氣よわらすをく訛傳なりと其筋へ回答ありたりと

○井上外務卿　井上外務卿が熱海溫泉ゑ入浴中なるとい兼て前号に掲載せしが猶聞く處に據れバ同地より近〻の内東海道を經て京坂地方ヨ漫遊せらるを夫れより歸京相成るとかいふ

○山田内務卿　同卿ヨは目下北海道函館縣下巡視中のよし又同縣令及び郡長も隨行の趣其筋へ電報ありたり

○芳川府知事　知事ヨい這程府下各郡區長を集め日本人民と從來種痘を忌を之を怠り終ヨ天然痘に罹る者往々少からず自今各郡區内ゑ據當員凡三名位宛を置き毎週毎月を取調へ若し種痘を怠る者ある時い說諭を加へ又樣取計相成度と口達されけれバ何れも其旨を領し退廳せゑとぞ

○佛國公使　一昨日正午より佛公使には大木司法卿ハ邸を訪いれけれバ種々ハ饗應ありて三時過歸館されたるよし

○閔太后　朝鮮王妃閔氏の殺害は訛傳ありしとのヨ、とい既に前号に記載せしが去る十六日夕刻其筋へ達したる電報ヨ王妃い遁れて忠清道清州に在はせしヨ又同國政府は去る七日を以て一旦布告せし喪服ハ令廢止れ旨を國中に傳へさりといふ

○朝鮮使節　昨日の紙上に今回花房公使と與に多分來航もるあらんと掲載せし朝鮮國特派大臣い朴泳孝ありと泳孝い國王の姻家にして駙馬都尉從一品上輔國崇祿大夫ありゝ

○上海電線　過日來破損ヨて居りし長崎上海間ハ海底電線い漸く去る十六日修繕濟みとあり同日より舊の如く書信を取扱ふとゝあれヨ

○秋月種樹君　華族從五位秋月君い慢性僂麻質私症ゑて去る六月一日より鹿兒島縣下櫻島ハ溫泉へ赴かれ療養され居しが去る十五日歸京されさり

○伊藤恕一氏　同氏は尾州名古屋七寶會社の社員ありしが曩にい濠洲シドニー府大博覽會ヨ行き今又來る廿六日扶桑の米郵船にて紐育府へ渡航し同府ゑ在る物品を辦理せし上來十六年和蘭國大博覽會へ赴くるといふ

○藤田泰夫君　同君には過般山梨長野及群馬縣下地方へコレラ病豫防法實地巡視ヨ仰付今十九日歸京せら最早御歸着ヨ仰付今十九日歸京せら報ありたりと

○李家文厚君　同君にヨ内務省御用掛ヨも昨日免せら軍々醫本部御用掛ヨも昨日免せら院治療課長を命せられさり

○祭粢料下賜　故書視厲宮川政方ハ祭粢料金三十圓昨日警視廳ヨ付祭粢料金三十圓昨日警視廳ヨ付

○兵制要程　今度陸軍省ヨ於て出書籍は是迄兵學新聞社ヨて販賣せは大ヨ相違し直に佛國の兵制を同省より一部を　聖上の御手許へ切紙賞を禁ヒ同省の將校ヨ限り現たるよし

○驛遞局　同局ゑ於て今回更ヨ清たるヨ付五等驛遞官青江秀君ゑ同官海老原清君は萬國郵便課長を

○北海道鉱臺分營　大山陸軍卿ヨ設置れ地位見分れ爲め過般同道朝鮮兒徒の事變起ヨしを以て直に今度再び該地へ赴かるべきの處用繁忙なるヨより再赴ヨ見合せ設置の地位をも内閣へ上申され

○日本銀行　日本銀行い軍繕租九日永代橋箱崎町れ同行に於て始め加藤濟君及三野村安田の諸方法一定の儀に付開議せられ式等の定日をも取極めらるとい宴ゐる由

○區會議員　本所區ヨては區會議依り來る二十五日同區明德學校を開くといふ

○新紙幣　新紙幣五十錢札は此りしヨ付昨十八日各銀行へ夫々

○法律學校　元老院大書記官金矢代操司法少書記官磯部四郎等佛國法律れ一學校を設立し有志目下專ら相談中なる由

○試驗　陸軍幼年生徒三十名い付近日試驗さるゝ筈ありと

○衛生掌減員　本所區ヨくい惡を增加さをしが昨今消滅ヨ瀕ヨ復されたり

○鄭的塔引渡　外山學校の構内